



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月29日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル
コード番号 4290 URL <https://www.prestigein.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員グループCEO (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) IRオフィスディレクター (氏名) 吉澤 勉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	43,744	8.1	5,854	3.1	6,226	1.8	3,854	2.5
2023年3月期第3四半期	40,452	18.1	6,040	22.7	6,342	22.8	3,761	20.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,092百万円 (10.5%) 2023年3月期第3四半期 4,608百万円 (27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	30.14	30.05
2023年3月期第3四半期	29.45	29.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	64,621	44,800	64.6
2023年3月期	60,273	41,817	64.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 41,773百万円 2023年3月期 39,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		5.00		6.00	11.00
2024年3月期		6.00			
2024年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	3.6	8,200	4.6	8,700	3.8	5,200	2.2	40.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	128,676,300 株	2023年3月期	128,560,700 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,347,308 株	2023年3月期	580,708 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	127,878,748 株	2023年3月期3Q	127,723,069 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2024年1月29日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（2023年4月1日～2023年12月31日）の我が国経済は、物価上昇による節約志向の高まりを受け、個人消費は一部に弱い動きがみられたものの、10月には訪日外国人数がコロナ禍以前を上回る等、リバウンド需要に支えられ、社会・経済活動は緩やかな回復傾向が続いています。一方で、地政学リスク及び海外主要各国の景気減速、欧米の金融政策に伴う長期金利上昇の影響等については、引き続き注視が必要な状況です。

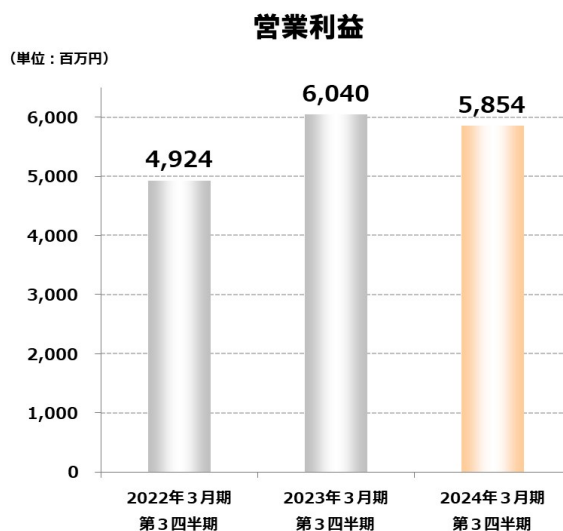
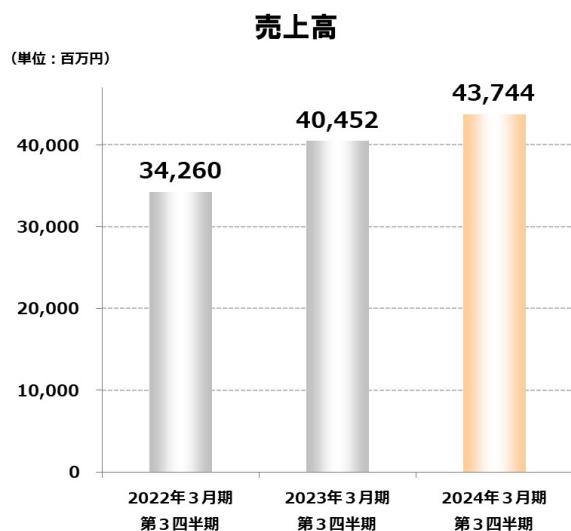
国内BPO市場においては、労働人口減少によるリソース不足や多くの企業において働き方改革の推進を背景とする業務オペレーション見直し等により、ノンコア業務をアウトソースする動きが継続しております。また、単体業務の委託だけでなく、コア業務やコンサルティング業務までを一気通貫でアウトソースする機運が高まっていることなどから、BPO市場規模は拡大基調で推移しております。

このような環境のもと当社グループにおいては、付加価値の高いサービスを提供するべく、高い専門性が求められるサービスを提供する優秀な人材を惹きつける職場環境の整備などに取り組んでおります。また、事業運営の中心を地方に置くことで、経営環境の変化に応じて確実にサービスを提供し、BPO市場の旺盛な需要に対応してまいりました。具体的には、2024年第1四半期中を目途に岩手県一関市に500席規模のBPO拠点「岩手BPOフォートレス」、2026年には秋田県潟上市に800席規模のBPO拠点の開設を計画しており、潟上市のBPO拠点操業開始に先駆けて、2023年6月に「秋田BPO潟上ランチ」を開設いたしました。今後も「継続的・安定的な成長」の実現を目指し、受託能力の向上を図ってまいります。

当第3四半期の連結売上高につきましては、金融保証事業、グローバル事業、オートモーティブ事業の成長がワクチン関連事業による減収分を吸収し、43,774百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

営業利益につきましては、売上高は前年同期比より増加したものの、前年同期までに業務量のピークを迎えたワクチン関連業務縮小の影響に伴う一時的な収益低下により、5,854百万円（前年同期比3.1%減）となりました。経常利益に関しましては、6,226百万円（前年同期比1.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業利益、経常利益が減少したものの、特別利益として投資有価証券売却益(43百万円)を計上したことにより、3,854百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

	前第3四半期	当第3四半期		参考 前連結会計年度
売上高	40,452百万円	43,744百万円	(前年同期比8.1%増、3,292百万円増)	54,562百万円
営業利益	6,040百万円	5,854百万円	(前年同期比3.1%減、186百万円減)	7,840百万円
経常利益	6,342百万円	6,226百万円	(前年同期比1.8%減、115百万円減)	8,378百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,761百万円	3,854百万円	(前年同期比2.5%増、93百万円増)	5,318百万円
1株当たり四半期純利益	29.45円	30.14円		41.62円



● オートモーティブ事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービス等を提供しているオートモーティブ事業は、ダイレクト系損保の契約台数増加に伴う手配件数増加及び前年度下期に開始した自転車向けのロードサービスの成長が寄与し、増収となりました。

営業利益につきましては、既存業務拡大に向けた人員補強に伴う人件費の増加及び、搬送比率・搬送距離の増加により仕入単価が上昇したものの、売上高の成長が寄与し増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	17,266百万円	18,758百万円
営業利益	2,168百万円	2,447百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+1,491百万円	+8.6%
営業利益	+279百万円	+12.9%

● プロパティ事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての修繕とコインパーキングのメンテナンス等を提供するプロパティ事業は、ホームアシストにおけるエネルギー関連会社との一部サービスに変更があったものの、既存サービスの成長及び現場対応業務の拡大に加え、パークアシストの事業地拡大及びサービス利用拡大により、増収となりました。

営業利益につきましては、ホームアシストにて体制強化に伴う原価の上昇があったものの、パークアシストにおける収益性の改善が寄与し微増となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	4,846百万円	5,231百万円
営業利益	345百万円	349百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+385百万円	+7.9%
営業利益	+4百万円	+1.4%

● グローバル事業

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート（ヘルスケアプログラム）業務等を行うグローバル事業は、米国クレジットカードビジネスにおいて、現地提携銀行への支払手数料の増加及びインフレの影響に伴う個人消費減少等の影響を受けたものの、ヘルスケアプログラムの会員増加及びクレームエージェント業務の対応エリア拡大等、既存サービスの成長が寄与し、増収増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	4,957百万円	5,921百万円
営業利益	438百万円	642百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+964百万円	+19.4%
営業利益	+203百万円	+46.5%

● カスタマー事業

カスタマーサポートサービスを展開しているカスタマー事業は、ワクチン関連業務の規模縮小による一時的な収益低下が影響し、減収減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	7,238百万円	6,167百万円
営業利益	1,897百万円	959百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△1,071百万円	△14.8%
営業利益	△937百万円	△49.4%

● 金融保証事業

家賃や医療費等、生活に関わる金融保証サービスを提供する金融保証事業は、グループ会社の株式会社イントラストが運営する家賃債務保証事業及び医療費用保証事業の契約者数が堅調に推移したことに加え、既存サービスの拡大が寄与し、増収増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	4,989百万円	6,576百万円
営業利益	1,153百万円	1,550百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+1,586百万円	+31.8%
営業利益	+396百万円	+34.3%

● IT事業

ITソリューションを提供するIT事業は、サブライチエーンマネジメントシステムのライセンスの解約及び検収の遅れに加え、前年度上期に検収が集中した反動により、減収減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	660百万円	570百万円
営業利益	179百万円	99百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△89百万円	△13.5%
営業利益	△79百万円	△44.4%

● ソーシャル事業

女子スポーツチーム「アランマーレ」の運営、保育事業及び地方創生事業を行うソーシャル事業は、「アランマーレ」のスポンサー収入増加等により増収となりましたが、保育事業「オレンジリー」における人件費増加、「アランマーレ」各チームにおける戦力強化及び活動費用の増加等により、営業利益は赤字幅拡大となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	492百万円	518百万円
営業利益	△142百万円	△204百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+26百万円	+5.3%
営業利益	△62百万円	—

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第3四半期末における総資産は、64,621百万円となり前連結会計年度末に比べ4,348百万円増加となりました。流動資産は、現金及び預金が1,799百万円減少、立替金が2,859百万円増加いたしました。これらにより流動資産合計では前連結会計年度末より1,818百万円増加し、37,711百万円となりました。固定資産は、有形固定資産のその他が1,129百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券が1,432百万円増加し、固定資産合計では前連結会計年度末より2,529百万円増加し、26,909百万円となりました。

負債に関しましては、未払法人税等が586百万円減少、契約負債が322百万円増加し、流動負債のその他が1,669百万円増加いたしました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より1,365百万円増加し、19,820百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが2023年6月および12月に発生いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益が3,854百万円となったため、前連結会計年度末に比べ2,982百万円増加しております。

なお、当社は2023年10月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式766,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が499百万円増加しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,671,467	19,871,535
売掛金	5,304,236	6,491,479
立替金	6,549,144	9,409,056
商品及び製品	69,380	82,736
仕掛品	173,593	272,274
原材料及び貯蔵品	63,840	88,857
その他	3,354,858	3,308,312
貸倒引当金	△1,293,676	△1,812,819
流動資産合計	35,892,843	37,711,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,085,438	11,084,582
その他(純額)	2,611,611	3,741,038
有形固定資産合計	13,697,049	14,825,621
無形固定資産		
のれん	135,000	112,500
その他	1,890,878	1,978,467
無形固定資産合計	2,025,878	2,090,967
投資その他の資産		
投資有価証券	7,655,097	9,087,669
その他	1,069,841	973,553
貸倒引当金	△67,619	△67,863
投資その他の資産合計	8,657,318	9,993,359
固定資産合計	24,380,246	26,909,948
資産合計	60,273,090	64,621,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,349,742	1,528,728
短期借入金	125,000	125,000
未払法人税等	1,365,018	778,041
契約負債	5,907,561	6,229,811
賞与引当金	748,606	462,748
保証履行引当金	252,391	354,129
その他	5,953,414	7,622,879
流動負債合計	15,701,735	17,101,337
固定負債		
長期借入金	250,000	187,500
退職給付に係る負債	13,545	14,253
資産除去債務	1,885,046	1,934,135
その他	604,924	583,713
固定負債合計	2,753,516	2,719,603
負債合計	18,455,251	19,820,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,570,641	1,601,210
資本剰余金	2,840,271	2,870,840
利益剰余金	32,788,867	35,107,102
自己株式	△418,158	△918,155
株主資本合計	36,781,620	38,660,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	591,133	931,667
為替換算調整勘定	1,706,346	2,180,623
その他の包括利益累計額合計	2,297,480	3,112,290
新株予約権	249,802	274,832
非支配株主持分	2,488,934	2,752,319
純資産合計	41,817,838	44,800,439
負債純資産合計	60,273,090	64,621,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	40,452,003	43,744,951
売上原価	30,485,792	33,577,544
売上総利益	9,966,211	10,167,406
販売費及び一般管理費	3,925,277	4,312,533
営業利益	6,040,934	5,854,873
営業外収益		
受取利息	5,036	8,813
有価証券利息	166,771	213,964
受取配当金	29,324	29,535
持分法による投資利益	252,226	317,633
その他	46,671	26,290
営業外収益合計	500,031	596,236
営業外費用		
支払利息	4,452	3,723
為替差損	169,804	155,990
その他	24,617	64,452
営業外費用合計	198,875	224,166
経常利益	6,342,090	6,226,943
特別利益		
固定資産売却益	1,006	2,775
補助金収入	15,148	12,211
投資有価証券売却益	1,130	43,294
その他	474	—
特別利益合計	17,759	58,280
特別損失		
固定資産売却損	38	—
固定資産除却損	—	24,997
固定資産圧縮損	15,148	12,211
減損損失	840	—
投資有価証券売却損	—	18,972
その他	3,860	—
特別損失合計	19,888	56,181
税金等調整前四半期純利益	6,339,962	6,229,043
法人税、住民税及び事業税	2,147,465	2,056,569
法人税等調整額	99,405	△110,372
法人税等合計	2,246,871	1,946,197
四半期純利益	4,093,091	4,282,845
非支配株主に帰属する四半期純利益	331,611	428,156
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,761,479	3,854,688

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,093,091	4,282,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,679	335,717
為替換算調整勘定	521,063	474,276
その他の包括利益合計	515,384	809,993
四半期包括利益	4,608,475	5,092,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,280,607	4,669,499
非支配株主に係る四半期包括利益	327,868	423,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年10月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式766,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が499,996千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が918,155千円となっております。